

(仮称)大田区環境アクションプラン素案(第2回環境審議会資料)からの変更点一覧

参考資料

No	項目		修正箇所	備考(第2回審議会での意見等)	頁
1	第1章	世界の動向	第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26・令和3年11月イギリス・グラスゴーにて開催)の概要を追記		P.2
2	第1章	世界の動向、国の動向	生物多様性に関する動向(愛知目標、国家戦略、COP15等)を追記 ※ 他の項目(区域施策編、気候変動適応方針)と整合を図り、「第4章 基本目標D 大田区生物多様性地域戦略の基本事項」内に掲載していた生物多様性の社会動向に関する記述は掲載を削除	生物多様性地域戦略を包含していることを踏まえて、第1章内、配慮した社会情勢として生物多様性に関する動向を追加してはどうか。追加にあたっては、今月から中国で開催されているCOP15や、国が策定作業を進めている「生物多様性国家戦略2020」の後継戦略などの動向も可能な範囲で反映いただきたい。(島田副会長)	P.2
3	第1章	国の動向	国が第5次環境基本計画で示した「地域循環共生圏」の概念図を追加	国が示した「地域循環共生圏」の考え方について概念図などを掲載してはどうか。(奥会長)	P.4
4	第1章	国の動向	国の動向に令和3年10月に閣議決定された以下の項目を追加 「第6次エネルギー基本計画」 「地球温暖化対策計画」 「政府実行計画」 「気候変動適応計画」 ※ 素案時点で国の動向の表中に掲載が漏れていた以下の項目を追加掲載 「気候変動適応法」(平成30年) 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」	国が現在策定を進めている「地球温暖化対策計画」や「エネルギー基本計画」に関して、可能な範囲で反映した方が良いのではないか。(志々目副会長)	P.5 ～ 6
5	第3章	1 将来の環境像	「大田区環境ビジョン2050」に関する記述を新規追加		P.14
6	第3章	その他	「第4章 基本目標実現の取組」から以下の2項目を移動。 ●3 目標を踏まえた今回の計画 ●4 各主体の基本的な役割		P.16 ～ P.17
7	第4章	全体	冒頭に「基本目標」「取組方針」「施策」の全体図を追加		P.19 ～ P.20
8	第4章	基本目標A 管理指標	「①環境講座(出前授業)の実施数、参加者数」 ↓ 「①子ども向け環境学習(出前授業)の実施回数」に修正	「環境講座(出前授業)の実施数、参加者数」は、出前授業に限った数か。(田村委員) 参加者数、実施数のどちらを記載するのか。	P.21

9	第4章	基本目標A 管理指標	「④区民・事業者・団体への活動支援件数」 ↓ 「②区民・事業者・団体への活動支援件数(後援・共催・講師派遣等)」に修正	「区民・事業者・団体への活動支援件数」とはどのような内容を想定しているのか。(奥会長)	P.21
10	第4章	基本目標A 管理指標	②「区民運動「おおたクールアクション」の賛同団体数」、③「食べきり応援団の登録事業者数」を統合し、 ③「主体間連携による取組に賛同した団体・事業者数(おおたクールアクション賛同団体数、食べきり応援団登録事業者数)」に変更。		P.21
11	第4章	基本目標A 管理指標	⑤「区の助成事業を活用し環境負荷の低減に取り組んだ企業数(ものづくり企業立地助成、ものづくり企業立地継続補助金等)」を新規追加	産業分野に対する指標として、民間技術の開発等を捉えられる指標が望ましいのではないか。(坂野委員)	P.22
12	第4章	基本目標A A-1 環境に優しいライフスタイルへの転換 リード文	リード文に、コロナを踏まえた普及啓発事業の実施手法等(ホームページやSNSを活用した事業展開)に関する記述を追記。	見直しの視点に「ウイズコロナ、アフターコロナ」とあるため、基本目標実現の取組の中にもコロナを踏まえた記載内容があった方が良いのではないか(島田副会長)	P.22
				見直しの視点の「ウイズコロナ、アフターコロナを踏まえた事業展開」に関して、例えば新しいライフスタイルと地球温暖化の問題などを関連付けた上で、解決に向けた政策的誘導などに取り組むことなどが期待されるが、現状の掲載内容を見るとそういう意味では弱いと感じる。既存の計画がベースのためやむを得ない部分もあるが、そうした視点もあると良いのではないか(坂野委員)	
13	第4章	A-2-(2) 産業分野への取組支援	事業イメージに⑨「公衆浴場施設改善助成」を追加		P.24
14	第4章	基本目標A コラム	コラム「大田区の環境学習ツール」を追加		P.26
15	第4章	基本目標B 管理指標	①「省エネ行動に取り組む区民の割合」の基準年度値、目標値を追記		P.33
16	第4章	基本目標B コラム	コラム『蒲田清掃事務所は大田区役所初の「ZEB Ready」の建築物』を追加		P.37
17	第4章	基本目標C 管理指標	「①緑被率」、「②直径40cm以上の樹木の本数」を削除し、 『①「緑の多さ」に満足している区民の割合』を追記	「緑被率」、「樹木の本数」が検討中となっているが、いつ示されるのか。(河村委員)	P.42
18	第4章	基本目標C 管理指標	④「区民一人当たりの公園の標準面積」の目標値を 「6.00㎡」→「4.17㎡」に修正		P.42

19	第4章	C-1-1 緑の普及啓発 事業イメージ	事業イメージ ⑧「(仮称)大森南緑化園の活用」を追加		P.43
20	第4章	基本目標C コラム	コラム「レッドリスト～絶滅のおそれのある野生生物～」を追加		P.46
21	第4章	基本目標D 現状と課題、今後の 方向性	基本目標Dの大田区環境版SDGs、進捗管理指標、取組方針の整合性を図るため文章を整理。		P.47
22	第4章	基本目標D 大田区環境版 SDGs	修正前) 安心で快適という魅力をそなえ、世界に向けて輝く都市おおたを目指そう ↓ 修正後) 安心で快適という魅力をそなえ、住み続けたいまちを目指そう	基本目標Dの「現状と課題、今後の方向性」に記載された内容や大田区環境版SDGsに対して、管理指標が弱いのではないか。文章に即した指標を検討されたい。(島田副会長)	P.47
23	第4章	基本目標D 管理指標	②「区と連携して地域美化活動を実施した自治会・町会数」を新規追加		P.47
24	第4章	基本目標D コラム	コラム「呑川の水質改善の取組」を追加	呑川の水質改善のために区が何をしているのか、区民にうまく伝わっていない。取組の効果的な宣伝を検討いただきたい(小山委員)	P.50
25	第4章	E-1-(5)	修正前) 「環境学習の実施」 ↓ 修正後) 「資源循環学習教室等の実施」		P.53
26	第4章	基本目標E コラム	コラム「古着の行政回収(古着のリユース・リサイクル)」を追加		P.55
27	第5章	2 気候の状況と 将来予測	(2)将来予測の図表にグラフの見方や補足(RCPシナリオや気候モデルの説明)を追加	一般の方が読んだときに分かりやすいよう、専門用語やグラフの見方に解説を入れるなどの工夫をされたい。(志々目副会長)	P.58 ～ P.65
28	第5章	4 大田区におけ る適応策	(3)「国民生活・都市生活」分野における適応策 「下水貯留施設の整備」を削除し、「無電柱化の推進」に変更		P.68
29	資料編	資料1	大田区環境基本条例の条文を追加		P.73 ～ P.75
30	資料編	資料2	計画の策定体制として(1)大田区環境審議会委員名簿、(2)庁内における策定経過、(3)区民意見の募集 を追加	※区民意見の募集の詳細は実施後に入力予定	P.76 ～ P.77
31	資料編	資料3	用語解説を追加		P.78 ～ P.82